

決算 期間限定 歳末謝恩お買得セール 12/12 木 → 21 土

※12/15(日)は定休日とさせていただきます

お正月用品全品3割引
書付道具期間限定蔵出し特価市
決算在庫一斉処分価格市

皇茶ではこのお茶碗でご一服を!

初代小川長樂 大福茶碗



The お道具拝見 初代小川長樂「大福茶碗」について

大福茶「お祝いやす」と京都では元日の朝に家族で大福茶を飲みお祝いする。大福茶の起源は、951年空也上人が都で悪疫が流行していた時、御仏を車に乗せて、都をめぐり「団茶(だんちゃ)の煎(じ)茶」に梅干と昆布を入れて庶民にふるまい悪疫が治ったと言われている。この茶が、当時の村上天皇にも献じられたため王服茶・皇服茶と呼ばれ、庶民に福を与えたところから後に大福茶の名が生まれた。 ※①

佐々木三味著「茶道歳時記」よれば、茶家の一年はこの大福に始まるというよい。即ち井華水の沸るをまって、家内一同が打ち揃って大福を戴く。点前は年男の例にならって最年少者があたるのもよい。それが終わって雑煮の膳につくのである。大福やけさはきのふの初音 且薫 ※② ※①井華水せいかすいは、丑寅の時刻(午前二時から四時頃)にくんだ井の水。一日のうち最も清冷とされる。華水(はなみず)とも。古く立春の日の早朝に初めてくむ水で、後に元旦にくむようになった。一年の邪気を除くとされる。「若水」に同じ。

※②杉田且薫 すぎたたんこう 江戸時代中期の俳人。松尾芭蕉の門人。尾張俳壇の古参のひとり。 ※小川長樂 初代小川大治郎は、12歳で11代樂慶入の弟子となり作陶を始め、明治39年に11代樂弘入のもとで、独立を許され五条坂に「長樂窯」を開窯した。明治39年、建仁寺4代管長竹田黙雷老師より「長樂」を、円能斎宗匠より「長友軒」の号を賜る。2代長樂は初代の偉業を受け継ぎ陶技の研磨に精進し、建仁管長額川老師より「景雲」の雅号を授与される。3代現長樂は平成4年襲名。醍醐寺座主、麻生文雄門跡より「松風軒」の軒号が与えられた。平成22年伊賀の地に新工房玄旬庵及び茶室(景雲亭・松風軒)を建築し、松尾芭蕉・奥の細道見立作品を制作する。現在115周年を迎え、長男小川裕嗣共々に楽焼の可能性を求め研鑽に努めている。

長男小川裕嗣 赤茶碗



「天皇后両陛下が伊勢神宮を参拝されました。」・・・親謁の儀 大嘗宮公開 ポンポニエール



天皇陛下が、即位の一連の儀式を終えたことを報告する伊勢神宮参拝は「親謁の儀」と呼ばれ、天皇一代に一度の特別な参拝とされています。11月22日外宮さんに朝6時到着、日除橋付近で待つこと3時間。雨にも降られることなく天皇后両陛下をお迎えすることができました。23日は午前中にお茶よばれてから内宮さんにもお茶にもめぐまれ、お姿を拝見させていただいたこと、心にジーンとききました。新たな日を迎えた感じでした!



皇居坂下門から参入し一般に公開された大嘗宮を見てきました。大嘗祭は、毎年11月にあります五穀豊穡や国家安寧を祈る「新嘗祭」の中でも、即位後初めて行う儀式をいう。皇位継承に伴い一代に一度だけある重要な儀式。14日夜から15日未明にかけて行われた「大嘗宮の儀」は、天皇陛下の代わりに伴う皇室行事「大嘗祭」の行事の中核の一つで「天皇陛下が即位後初めて、新穀を皇祖・天神地祇に供え、自らも召上がり、国家・国民のために安寧と五穀豊穡などを感謝し祈念する」(宮内庁HP)。 私も一生に一度?拝見できて清々しい気持ちになり、悠久の歴史を感じてきました。

「学習院大学史料館コレクション」展でポンポニエールを見てきました。一番見たい「雅楽太鼓形ポンポニエール」は展示されていませんでしたが、武具に因んだポンポニエールが展示されていて、その意匠に時代背景を感じました。日本のポンポニエールは、明治以降皇室の慶事の際に配られた引出物で金平糖などを納めました。



鉄兜形文鎮 ポンポニエール

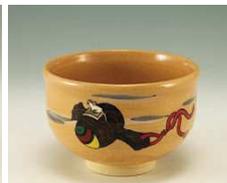
紀州葵窯干支・お題商品のご紹介 華乃会お買得価格でのご紹介です



紀州葵窯 希望茄子茶碗 ¥19,000



紀州葵窯 曆手茶碗 ¥19,000



紀州葵窯 庚子茶碗 ¥18,000



紀州葵窯 望月茶碗 ¥18,000



紀州葵窯 庚子香合 ¥11,000

「里古りて柿の木持たぬ家もなし」 芭蕉
木守りの柿とは日本の伝統的な風習で、柿をすべてとらないで木に実を残しておくことを云う。来年もよく実るようにと、木の先端に一つ二つ取り残しておく。また一説には上の方は鳥のため、下の方は旅人のために残し真ん中の柿のみを取獲するらしい。
師走になり、白川郷では降り積もる雪によって、彩をなくしたモノトーンの景色の中に朱色が際立つ景色と変わっていく

ご案内 紅葉に想う(ハハ)
紅葉は日中の暖かさで栄養を作り、夜の寒さでその栄養が枝や幹に行きにくくなってしまい葉の中で赤い色素ができてあの色となるそうです。人のように寒くなると血流が悪くなるのと一緒ですね。令和元年もあと少し・・・皆様お体には十分気を付けてお過ごしください!
残り柿(木守)
岐阜県の白川郷。合掌造りの集落が現在も残り世界遺産にも登録されている。この時期ここでは多くの残り柿の風景を見ることができ。里山、茅葺、柿の木、まさに日本の原風景といったところ。
ギャラリー森田ホームページ 右記のQRコードを読み込みアクセスしてください!
月刊「ぎゃらりいさん」編集プロジェクト

日	1	先負	定休日
月	2	仏滅	
火	3	大安	
水	4	赤口	
木	5	先勝	
金	6	友引	
土	7	先負・大雪	
日	8	仏滅	定休日
月	9	大安	
火	10	赤口	
水	11	先勝 華乃会バス旅行	店舗臨時休業
木	12	友引	歳末謝恩お買得セール
金	13	先負	
土	14	仏滅	
日	15	大安	定休日
月	16	赤口	
火	17	先勝	
水	18	友引	
木	19	先負	
金	20	仏滅	
土	21	大安	歳末謝恩お買得セール
日	22	赤口・冬至	休日営業
月	23	先勝	
火	24	友引	
水	25	先負	
木	26	赤口	
金	27	先勝	
土	28	友引	
日	29	先負	年末休暇
月	30	仏滅	
火	31	大安	1/5迄

・編集の窓・



白川郷 合掌造りと残り柿

photo by S.A



(題字・三輪休和)

121号 令和元年 2019年12月発行

令和2年 庚子かのえね

1/ 11 土 12 日 13 月
福袋あります

初釜ご案内



初代長樂 赤茶碗 円能斎 銘「鷗」

